

目指せ!なのはな米1等比率95%以上継続! ~「R4 JAなのはな米品質向上運動」実施中~

- ・直播（カルパー、鉄コーティング）は、分げつが急激に増加するため、溝掘りや中干しは遅れないように実施しましょう。
- ・播種時にルーチンFSの種子塗抹処理や箱施薬剤の播種時土中処理を行っていない場合は、6月中旬まで「いもち病」の予防剤を施用しましょう。
- ・雑草がみられる場合は、草種や葉令を確認し、適期に除草剤を散布しましょう。

1 溝掘り・中干しの実施

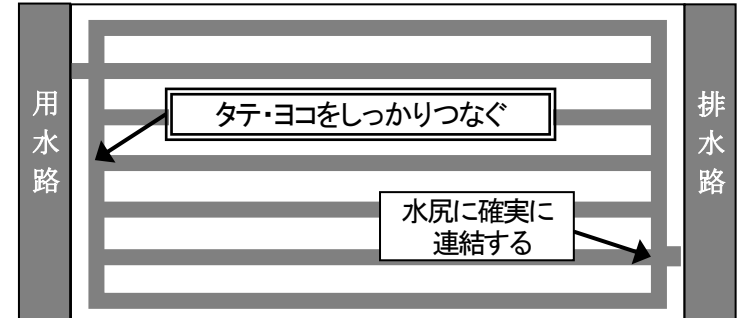
(1) 溝掘り…6月上旬までに必ず実施

- ・水の出し入れをスムーズにし、中干しの効果を高めるため、**中干し前に『溝掘り』**を行いましょう（右図参照）。
- ・播種同時で溝掘りを実施している場合でも、溝が浅くなっているため、再度『溝掘り』を行いましょう。

(2) 中干し…6月上旬～中旬に開始

- ・**1m間の茎数が100本程度に達したら、中干しを遅れずに開始**しまし
よう。
- ・極端に強い中干しは、稲にダメージを与え穂数の減少につながります。
数回に分けて適度に田干しを行い、中干し完了後は**間断かん水**を行いま
しょう。

【溝掘りの目安】15～17条に1本の割合で設置



鉄コーティング直播は表面播種のため、倒伏しやすい傾向があります。根を確実に土中に貫入させるため、**しっかりと中干し**を行いましょう。

2 病虫害防除の徹底

(1) いもち病の発生を予防するため、**6月中旬頃まで薬剤を散布**しまし よう。

薬剤名	10a 当たり使用量	使用上の注意
オリゼメート1キロ粒剤	1kg	散布後4～5日程度は「湛水状態」を保ち、7日間は落水や掛け流しをしない。

※ルーチンFSの種子塗抹処理、箱施薬剤の播種時土中処理を行っている場合は必要ありません。

(2) 斑点米の原因となるカメムシ類の繁殖を抑えるため、**畦畔や雑草地の草刈り**を徹底しまし よう。

3 雑草防除（中・後期除草剤）

(1) 雑草が残った場合は、イネと雑草の葉令を確認し、雑草の種類に応じた中・後期剤を適期に散布しまし よう。

雑草種類	使用除草剤	10a 当り使用量	使用時期	使用回数	使用上の注意
ノビエのみ	クリンチャー1キロ粒剤	1.5kg	は種後25日～ノビエ4葉期まで (収穫30日前まで)	2回以内	湛水状態で散布し、散布後5日間は湛水を保つ。
	トドメMF乳剤	200ml (希釈水量 25～100ℓ)	は種後10日～ノビエ6葉期まで (収穫50日前まで)	2回以内	湛水散布または落水散布。湛水状態で散布する場合は、3～4日は湛水状態を保ち、散布後7日感は落水しない。
ノビエと 広葉雑草	サンパンチ1キロ粒剤	1kg	イネ3葉期～ノビエ3葉期まで (収穫60日前まで)	1回	湛水状態で散布し、散布後5日間は湛水状態を保つ。
	ウィードコア1キロ粒剤	1kg	イネ3葉期～ノビエ4葉期まで (収穫60日前まで)	2回以内	湛水状態で散布し、散布後5日間は湛水状態を保つ。
	シアゲMF1キロ粒剤	1kg	イネ3.5葉期～ノビエ4.5葉期まで (収穫60日前まで)	2回以内	湛水状態で散布し、散布後5日間は湛水状態を保つ。
	ツイゲキ豆つぶ250	250g	イネ5葉期～ノビエ4葉期まで (収穫60日前まで)	2回以内	湛水状態で散布し、散布後5日間は湛水状態を保つ。
	クリンチャーバスME液剤	1000ml (希釈水量 70～100ℓ)	は種後10日～ノビエ5葉期まで (収穫50日前まで)	2回以内	晴天日を選び、落水状態で雑草茎葉部に薬剤が付着するように散布する。また、3～4日間は入水、落水しない。
	トドメバスMF液剤	1000ml (希釈水量 100ℓ)	は種後10日～ノビエ6葉期まで (収穫50日前まで)	2回以内	落水状態で、晴天が2日以上持続する時を選んで散布する。散布後3～4日間は入水・落水しない。
	ロイヤント乳剤(クサネム対策)	200ml (希釈水量 100ℓ)	イネ3葉期～ノビエ5葉期まで (収穫45日前まで)	2回以内	落水またはごく浅く湛水し散布。落水状態で散布する場合は散布後3日以内に入水する。散布後7日感は落水しない。
広葉雑草のみ	バサグラン粒剤	3kg	イネ3葉期～入水50日後まで (収穫60日前まで)	1回	落水または雑草が露出する程度の浅水状態で、晴天日を選んで散布し、散布後3～4日間は入水・落水しない。

※「直播水稻」で登録のある除草剤を使い、決められた使用回数や散布量等、使用基準を遵守しまし
よう。

※藻や表層はく離が発生しているほ場では、水の入れ換えや軽い田干しを行いま
しょう。

※除草剤散布後7日間は止水管理（田面水が用排水路に流れ出ないよう管理）とし、河川等の環境を守りま
しょう。

**農作業の際は、適切な水分・塩分補給やこまめな休憩など、熱中症対策を徹底しまし
よう!**